



## 安藤春一 議員

Haruichi Ando



12月定例会

チャレンジ

トピックス

一般質問

追跡

# Q. 合併、そして町長の姿勢は A. 町民の幸福と地域の発展に全力を注ぐ

本町には独自の文化と歴史があり、何よりも大きな資源がある。これを踏まえ、尋ねる。

**Q** 情報化社会の今日、町民の多くの人が関心を抱いている。北名古屋からオファーはあったか。

**A** 副町長 事務的には北名古屋市の副市長から「市長発言」、総務部長から「アンケート調査」の説明があったが、合併協議への参加要請はない。

**Q** 着任間もない町長は、名古屋市との合併をどう受け止めるのか。

**A** 町長 合併は町の存在という根幹事項であり、慎重に判断しなければならぬ。今は町民の幸福と地域の発展に全力を注ぐ。

合併は、町民の皆様  
の意向を十分見極めて、

判断する。

**Q** この町に期待して転入された方や先祖代々この地で営々と生きてきた方、そして戦時中に飛行場用地として提供された方等多くの人の生活に配慮しながら「じつくりと対処する」ことが大切。この点の配慮を望む。

**A** 町長 私の信条は「温故知新」。現町政を継承しながら、見直す点は見直し、町民の皆様と議員各位・職員が丸となって、町の発展と新たな創造を目指す。

また、民間の経験を活かし、そのノウハウや人のネットワークを基に、

お年寄りや子どもにやさしい「誰もが住みやすい、住み続けられる町づくり」に全身全霊を尽くして取り組む。



▲子どもにやさしい町づくり（保健センター 子ども健康相談）